

人軍事専門家は支那空軍の大勝利である許りでなく、軍事航空史に記録すべき大空中戦であったと語つてゐる。支那側の勝利は次の数字によつて明らかである。即ち撃墜したといはれる日本機二十一臺の内十七臺は既に所在が判明した。この中には乗組員七名の重爆機八臺がある。よつて人的損害は重爆機乗組五十六名、戦闘機乗組七名で残り二名は落下傘で地上降下後支那側の捕虜となつた。一方支那側の損害は戦死皆無。負傷七名で、支那側の失つた七機のパイロットは落下傘と不時着によつて死を免れたものである。日本側は支那側よりも戦闘機数臺を多く失つて居り剩へ戦闘機十臺に相當する重爆機八臺を失つて居るから日本側の損害額は支那側の十倍を超えてゐる譯である。武昌に墜落した支那機一臺は日本機の丁度真上にゐたため支那側高射砲に撃墜せられたものである。尤もパイロットは軽傷を負つたのみで脱出した。

内閣情報部五・五 情報第七號

一 支那中央通信社報 (朝鮮總督府通信局聴取)

四月三十日

一 漢口電

(1) 支那空軍は昨朝南京上流五十哩の蕪湖を奇襲し日本機三臺を撃破したが、今朝も別隊は安徽省北部の要地蚌埠を空襲し日本側の占據せる飛行場に爆弾の雨を降らせ多大の戦果を収めた。歸途支那機は三臺の敵機に遭遇し、激烈な空中戦を演じ其の一機を撃墜した。

昨日の漢口中戦で撃墜した敵機は既報より一臺多い二十一機で、これは佐世保の第二十飛行隊所屬のものであり、中支に於ける空襲の初陣と見られてゐる。漢口附近で撃墜した日本機の操縦士二名は支那側の捕虜となつた、他の操縦士は機體を火に包まれパラシュート・ジャンプの機會もなく惨死した、大部分の日本側パイロットは空中戦死したり、墜落の際に惨死してゐる。

漢陽は昨日の空襲中最も大なる損害を蒙り、約四百の市民死者を出した、爆發の爲一箇所では六十人が生埋めとなり、他の箇所では一度に二十人の屍體が発掘された、漢

陽のビルディングも多数爆破されてゐる。漢口の對岸武昌ではセント・ジョセフ病院の附近に爆弾が一箇落ちたが病院には損傷がなかつた。

(ロ)最高軍事會議により執行された日本兵の捕虜訊問に於てアベ・シゲチは日本軍が最近の戰鬪に於ける南部山東戰線への軍需品輸送には痛切な困難を嘗めたことを認め、同人によれば日本兵は支那側との戰鬪に一方ならぬ困苦を経験して居り、南部山東省に於ける死傷は甚大であつたと。尙分隊長イワイ。ツネチによれば日本兵の大部分は何のために又誰のために戦つてゐるかも知らない、このため前線の士氣は沈滞してゐると。アベ、イワイ其他三名の日本兵捕虜は最近南部山東省より漢口へ護送せられたものである。

(ハ)政府の統計によれば支日戰爭の發生以來本年三月末迄に支那人の海外移民が融金した現金は七百萬元に達してゐる。元も醫藥品や軍需品寄附による金額については正確な數字が判明してゐない。前記の七百萬元は英鎊、米弗、佛法、香港弗、和蘭のフロリン其他各國の通貨より換算したもので、これは華僑が如何に廣く世界に分散してゐるかを示すと共に彼等の祖國に對する支援が如何に熱烈であるかを示すものである。海外支那人は主として暹羅、馬來半島、蘭領東印度、佛領印度支那、ソヴェート・ロシア、ブルマ、マカオ、フィリッピン群島、合衆國、日本、フランス、イギリス等に

見受けられる。

三、上海電

日本軍が揚子江沿岸に於て上陸を行つてゐる間は外國船の航行を許可せぬといふ日本側の布告以來、イギリス砲艦は戰鬪準備をして揚子江を航行してゐるが、「上海イヴニング・ポスト」紙は之を以てイギリスの態度強化と見てゐる。日本側の本件不干渉はイギリスとの悶着を欲しないからである、イギリスは歐洲問題を解決したから今後は對支權益擁護のためより積極的となるであらうと結んでゐる。

三、長沙電

政府機關紙「中央日報」は社説に於て歐洲平和の直接的結果は日本の孤立であり、又間接的結果はイギリス及ソヴェートの極東政策強化であると述べてゐる。同紙によれば英ソ兩國が極東政策を強化せば恐らくアメリカも之に追隨し、かくて日本の財政・經濟状態は悪化し、反戰感情は増大し、ドイツやイタリーの對日態度も何等かの修正を見るであらう、「これら一聯の現象は日本のファシスト及軍國主義者の威望失墜を意味する」と確信してゐる。日本は歐洲情勢の安定が自國に不利なることを知悉してゐるから、歐洲に於ける日本外交官の動靜に注意を拂ふべきであると結論してゐる。

既に就いて日本外交官の如く活潑な働きをなして居る。...
「現時の支那は何もかも總てが見事に統制せられてゐる」と英人國秀作家クレツシイ。

五月一日
漢口電

(1) 蔣總統は全國に激を飛ばし支那國民が抗日戦に各自の本分を盡すことを要請した、其の要旨は「中國最後の勝利のため兵士は前線に於て戦ひ、移動部隊は敵の後方を擾亂して侵略者を困憊せしめ、決死の抵抗を續けてゐる。この時、抗日戦に各自の任務を果すことは國民黨員延いては支那國民の義務である。國民は地方當局と協力して無敵戦鬪部隊を組織し、同志と肩を並べて犠牲を顧りみず闘争すべきである。「敵は全支を征服し全國民を服従せしめんとしてゐることを先づ心せよ。過去數ヶ月間數千の同胞は冷血なる日本人のため殺戮せられた、これら犠牲は我々が抵抗しなければ死は確實であり、國家は滅亡に瀕することを示してゐる。「國民が戦死して敵と戦ふべき秋は來た、これが我々を救ふ唯一の道である。「日本軍は交通の便宜ある大都市は占領出來るが、地方の大都市は占領出來ない。日本軍の占領地域より避難した民衆は故郷の町や村に歸り機會あれば敵と戦へる様に義勇隊を組織せよ。」

總統はバルチザン部隊の編成にはあらゆる便宜と指導を與へることを約してゐる。「汝等自身で中國を救ふ時は今である。祖國のために團結し闘争せよ」と。

マークスとして知名のフランシス・フィツシヤ、夫人は西藏及支那西北部の長い旅行を終へ漢口通過の際次の如く語つた。「行つた先々では何處でも純粹な愛國主義の現れを見る事が出来た、こうした感情、思想は甘肅、青海の邊境に至る迄よく浸潤して居た、國民政府に對する支持と忠誠は前共產軍たる第八路軍内部に於ても熱烈であり、同軍の兵士は打倒日本の決意に燃えてゐた」と。同夫人は支那空軍の暫期的躍進に深い印象を受け支那將兵の士氣軒昂たるものには驚異を感じたと語つてゐる。

香港電

上海外人筋よりの消息によると支那空軍が上海を空襲する氣配ありと述べてゐる。昨朝上海西郊では、支那側ゲリラ部隊が南站（停車場）より十六軒の華莊を襲撃し激戦が発生したため砲聲が聞へた。

五月二日

漢口電

(1) 荒木貞夫大將は「都新聞」への寄稿に於て「日支紛争の根本的解決はソ聯コミンテルンの支那に於ける活動を無効ならしめることにある」と結論し支那の赤化に意味を含ませてゐるが、有力紙「大公報」は次の如く反駁してゐる。支日問題は日本軍部が考へてゐる如く錯綜したものではない、寧ろ白日の如く至極單純な問題である。「支那は獨立を

欲し、其の政治、領土的主權の保持を欲してゐるに過ぎない、しかるに日本は支那の分割を欲してゐる、こゝに今次戦争の眞因がある。支那が主權擁護に成功し、日本が大膽の夢を放棄するならば支日問題解決の日は来るであらう」。支那の全國民は一丸となつて決然たる抵抗を續けてゐることを指摘し、支那が獨立を確保せんがための抗争を第三國の煽動に因るものと見るのは馬鹿げた考へである、同紙は荒木前陸相の主張を反駁するため五つの事實を引用してゐる。既に (一) 支那の武力抵抗は其の獨立と自由を確保せんがためのものに過ぎない (二) 支那は其の獨立と自由が確認せられれば國際情勢の如何によらず和平を考慮するであらう (三) 支那國民の中心思想は國家と民族を救ふことである、國民の三民主義に對する信念は所謂赤化とは何等の關係もない (四) 支那は自國のために戦争してゐる、平和を愛する友邦より支那は同情を受けてゐるが、ソヴェートは支那の友好國であり、支那は其の同情に感謝してゐるが、支日問題は支那と日本との間の問題であつて、ソヴェートとは何等の關係もない (五) 荒木のステートメントは英、伊接近に基づく歐洲の新情勢によつて促されたものであることが明瞭で、支那の赤化を云々し、西歐民主主義國の支持を得んと欲したためである。

結論として同紙は「支那の獨立、主權、自由のために支那國民は最後迄戦ふ、吾人は日本軍部が其の誤りに氣が附くとは考へられぬから之に致命的打撃を與へることにより、

否應なしに神聖な支那の獨立、主權、自由を確認させなければならない」と述べてゐる。

(四)この二週間全線の支那軍は陣地保持に成功し戦況は樂觀的である。軍謀報部次長吳石は外人記者團に語つてゐる。最近二週間の戦局を回顧し吳將軍は支那側防備軍が山東省南部の灣形陣地に於て日本軍の進撃を阻止し敵に多大の損害を與へたと語つた。同戦線の各要地では進退戦が續けられ、日本側の損害は甚大である。一例を挙げれば右翼に於て千名以上、台兒莊の西北各地に於ては三、四千の死傷者を出してゐると。最近の情報より判断すると同方面に於ける日本側の攻勢は衰退してゐる。

最高軍事會議の政治訓練部長陳誠は記者團招待宴に於て日本側は津浦全線を占領することには至極困難であると言見を述べてゐる。「我軍としてはもとより敵を抑制することを望んでゐるが、たとへば數都市を失ふことを抗戦を繼續出來る、敵軍としてはたとへば津浦全線を支配出來ても、其の戦果は山西省に於ける敗退を償ふことは出來ぬであらう、同省に於ける日本側の防備線は防備據點に縮少せられ、剩さへ其の多數は支那側に奪還せられてゐる」云々。

最近の政治情勢に就て宣傳部次長周佛海は記者團に對し國民黨臨時大會後支那の國家的統一は更に強化せられたと述べ、内部軌轢に關する日本側の宣傳を嘲笑し、「一時的の敗戦等は中國の團結に何等影響しない、たゞ國民の團結をより鞏固ならしめるに過ぎない」

と結んでゐる。

(五)支那聯盟協會は國際聯盟、聯盟協會國際聯合會及イギリス聯盟協會の三團體に電報を發し、國際聯盟の傳染病豫防協會が設立した漢陽の隔離病院に對する日本側四月二十九日の不法爆撃を非難した。

の不安定感を非難する。
、朝鮮總督府の警備隊が、朝鮮半島の治安を維持し、朝鮮の治安を維持する。日本國民二十六月
の治安維持隊が、朝鮮半島の治安を維持し、朝鮮の治安を維持する。日本國民二十六月
の治安維持隊が、朝鮮半島の治安を維持し、朝鮮の治安を維持する。日本國民二十六月

極

内閣情報部五・五 情報第八號

―浦鹽斯德放送局放送（四月三十日）―（朝鮮總督府通信局轉取）

日本國內は本年に入り對支交戦の反動を受け、極めて困難に直面してゐる。日支開戦以來日本はこの十ヶ月間に百五十萬の兵を支那に出兵して莫大なる戦費を支出したる結果、國內財政は窮乏を告げるに至つた。日本政府の本年度豫算は百八十億圓に達して居るが併してこの老六なる豫算が國民の負擔にかゝることは勿論であつて、日本國民の平均租税負擔は一九三六年七圓九二錢、一九三七年一〇圓二九錢、一九三八年一五圓一七錢の割合で増税して居り、農民及労働階級はその影響を深刻にうけて居る、又今次の戦争によつて國內に労働者の不足を來し、その対策として工場は労働時間を一日十六時間に延長して居るが、一方労働者の賃金は低減して居る。一般國民の生活指數は一割三分増加し、特に衣服類は三割の昂騰を示してゐる、尙農民大衆より多數出兵したる爲、農村は耕作に従事する働き手を失ひ、加ふるに肥料は五割、農具は四割騰貴し一層困難なる状態をみせて居る、かくして日本國內は諸物價昂騰につれて前途は暗鬱たるものである。

日本政府は一般大衆、農民及労働者の同盟結成を恐れ最近かゝる團體の組織指導者四百名を逮捕して、國內不満分子の暴動勃發を警戒して居る。